

とく  
徳

ほう  
朋

人生は思い通りにならない

のぶつか ともみち  
延塚 知道



のぶつか ともみち

1948—現在

福岡県出身。元大谷大学教授。  
現大谷大学名誉教授。  
真宗大谷派昭光寺住職。

最近、問題になっていることの一つに「キレる」ということがあります。若い人の中で自分の思い通りにならなかつたら、パニックになって相手に危害を加える事件がたくさん起こっています。確かに人生は思い通りになることなどほとんどなく、思わないことばかりが起るものです。それによって悩み、ストレスがたまるのも確かです。思い通りにならない事に直面したとき、自分の思うように事が運べばどんなにいいかと思えます。しかし本当にそうでしょうか。私たちの思うようになったらどうなるのでしょうか。私たちが考えていることはろくなことではありませんし、すべてを人に言えるようなことではありません。私たちの思うようになったら、とんでもないことになるのではないのでしょうか。

つい最近、女性を監禁して、「旦那様」とか「ご主人様」とか呼ばせて、自分の思うようにならなかつたら危害を加え、食べるものも与えなかつたという事件が起こりました。自分の思うように事が運べば事件になって警察に捕まるのが落ちですよ。私たちが思うようにならないとき、思うようにすることしか思いつきませんが、本当に思うようになる事を望んでいるのではないのです。(中略)

私たちは自分の思い通りにならないことに直面すると、何とかして自分の思うようにすることしか考えつきません。そこが人間の愚かなところなのです。仏さまの智慧で見たときには、実は思い通りになることを願っているのではなくて、世間を超えた無限なるものを求めていると、教えているのです。思い通りにならないという有限の制約の中の苦しみは、実はそのまま、無限の世界を求めているというのです。ところが有限な世間しか知らない人間にとっては、世間の中でその問題を解決しようとはしますから、どうしても思うようにすることしか考えつかないのです。そこが人間の実に愚かなところですし、反対に仏の智慧の何と深いことかを教えられます。だからお釈迦さまは有限な世間しかわからない人間に、出世間の無限を明らかにして、我々を救おうとしてくださったのです。

『今、いのちがあなたをいきている』



私たちが現状を思い通りにしたいと考えることは当たり前の事ですが、例え思い通りになったとしても、実は本当に望んでいる事はそれではないので、絶対に満たされずに、更に苦しみが深まります。思い通りにならない事を嘆く私たちに、どうする必要もない広い世界を教えてくれているのが、お釈迦さまの教えです。(哲弘 拝)



この「徳用」は仏教を拠り所としている方々の言葉に直に触れ、この身で感じる事を願いとして毎月作成しています。多少難しい表現もあるかと思いますが、頭で分からなくても構わないので気にせず読んでみて下さい。